

第 一 部

My Lord, What a morning

arr. by 福 山 敦 夫

古い黒人霊歌で、葬式のあとの悲しみをふきけしてさあ夜明けた暗い苦しい生活などふっとんでしまえという内容の歌です。この曲は前回のコンサートのラストでしたが、私達は前回と今回の橋渡しの意味でこの曲から始めたいと思います。

Sloop John B

arr. by 村田元紀、桜井晴久

キングストントリオ、ウィーバース、それにビーチボーイズなども歌っている古い歌で、難破船の乗組員たちが、勇敢に活躍する姿をなじみやすいメロディーで、どちらかというとな楽天的に表現しています。

Sparrow

arr. by 石 川 政 和

有名なサイモンとガーファングルの初期の作品で、すべての生きものは大地から生まれ大地に帰するということをモチーフに、かよわいすずめがひとりぼっちで友達もできず、結局、すずめを受け入れてくれるものは大地、すなわち死である、ということを書いた曲です。この歌はなんとなく現代社会の中の人間の孤独さに通づるところがあると思うのですが。

中国地方の子守歌

arr. by 川 嶋 孝 志

日本の代表的な子守歌のひとつです。暖かい母の愛情が眠る子供をすっぽり包みます。新しい一つの生命を見まもる母、その母の姿こそ最も美しいけがれの無いものです。ほら聞こえてきます母のしらが。

Midnight Special

arr. by 石川政和、高橋秀文

アメリカの南部に古くからある囚人の歌で、夜汽車のヘッドライトが獄舎の窓からさしこむと釈放がまじかだという伝説がもとになっている曲です。これを我々は現代風なリズムを取り入れて、陽気に歌ってみたいと思います。

コキリコ

arr. by 桑 原 竜 司

七寸五分に割った二本の竹を打ち鳴らす楽器それがコキリコです。この曲は富山県地方の民謡で、素朴で美しいメロディーは我々の現代生活に忘れがちななにかをふと思い出させてくれます。

A BA NA

arr. by K. W. F. M. A.

アフリカ原住民の葬式の歌ですが歌詞が全くわかりません。そこで我々はこの曲を葬式の歌とし、編曲して、人の死に対する疑い、恐れ、興奮、悲しみ、虚脱感に至るまでの感情の変化をできるだけ表現してみようと試みてきました。歌詞のわからないということは逆にそれだけ自由に感情をこの曲にぶつけられると思ったからです。この単純なメロディーの中にどれだけの表現ができるかわかりませんが、練習の成果を御期待ください。

渚と少年

Song. by 中 西 正 治

この曲は4年の中西正治のオリジナルで、過ぎ去った夏の日の淡い想いを歌っています。尚、この曲は先日、オリジナルフォークのコンテストで全国第三位に選ばれました。

Let get together

さあみんな友達になろう といった隣人愛に基づいた曲で、最近ではブラザースフォアがヒットさせています。本日は ブラフオーブラスα の形で試みてみたいと思います。

The sun is burning

arr. by 高 松 啓

サイモンとガーファンクルの作品です。夕やみの公園、太陽は真赤に燃え、恋人達がベンチで語り合う、そんな平和な情景です。そこに突然キノコ雲が立ちのぼり、そして太陽は消えてしまいました。こんな内容の歌が出来る程、表面的には平和な今の社会もその中に数多くの矛盾と不正が含まれて爆発寸前になっています。キノコ雲が立って初めてそれに気が付くようでは遅すぎます。私達は人間がそんな愚か者だとは思いたくありません。

Where are you going with the rain

arr. by 桑 原 竜 司

キングストントリオが数年前に来日した時に我々に教えてくれた曲で、うそつきやベテン師や陰口をいう者、大ぼら吹きなどの住んでいないどこかへ行きたいという希望を雨に託して歌います。

Pay me my money down

arr. by 石 川 政 和

俺の金を返してくれといった内容のたわいのない曲ですが、これは古いアメリカのフォークソングで「シンディー・オー・シンディー」の原曲です。アメリカにはこのたぐいの曲が、詩をいくつも変えて今日まで歌いつがれています。

誠意 責任 熱意をもって

未来の夢を開発する

(那須高原、白河高原別荘地分譲中)

ニユ 富士観光開発株式会社

本社 小田原市
東京支社 渋谷区代々木奨学ビル3階

第 二 部

八 木 節

arr. by 川 嶋 孝 志

「ちょいと出ました三角野郎が四角四面のやぐらの上で……」というわけでおなじみの上州の有名な民謡です。景気をつけるため色々と趣向をこらしてみたいと思います。

ソーラン節

arr. by 福 山 敦 夫

これも、北海道のヤン衆が労働する時に歌う有名な民謡です。我々の力強い心意気を存分に御覧いただきたいと思います。

Follow the Drinkin' Gourd

arr. by K. W. F. M. A.

南北戦争の前、奴隷達は昼は太陽の光をよけて物陰に眠り北斗七星のみえる方角を目ざして、自由への逃亡の道を歩み続けました。「ドリンキン・ゴアード」とは北斗七星のことです。

Green, Green

arr. by 桑 原 竜 司

この曲はニュークリスティ・ミンストレルズのヒット曲としてあまりにも有名です。グリーングリーン、緑の地へという明るいメロディーにのってほらかな安息の地、緑の平原への憧れを歌ったものです。

くじらの歌

words & arr by 石 川 政 和

青い空、白い雲、遠い遠い南の海のことでした。くじらの親子が三匹でのんびりと昼寝をしていますが。さて、そこから物語ははじまります。いったいなにが始まるのかな。あとはどうぞお楽しみに。

Three Ravens

arr. by 石 川 政 和

朝もやの中、丘のくぼ地に一人の騎士が倒れていました。そこに最愛の妻がやってきて夫を湖のほとりに運び、夕方自分も夫の後を追って死んでいきました。そんな内容の古いイギリスのパラッドです。

花嫁人形

arr. by 桑 原 竜 司

女性にとってあこがれの姿である花嫁は、赤い鹿の子のたもとをその涙でぬらしていました。落谷虹児作詞、杉山長谷夫作曲のこの曲は日本女性を花嫁人形を通して美しく描いています。

ばあちゃんの子守歌

Song. by 川 嶋 孝 志

ずーっと昔、ばあちゃんの背中におぶさって村祭に出かけた時の楽しい思い出、寝床でおはなしをしてくれたやさしいばあちゃん…… 今、こんなに大きくなって毎日の忙しい生活の合い間にふと遠い昔のばあちゃんの背中を思い出す時、我々が現在とかく忘れてしまいそうな何か暖いものを気付かさずには置きません。この曲は4年生の川嶋孝志の作詞作曲です。

Oh freedom

arr. by 川 嶋 孝 志

フリーダムソングの最も代表的な曲のひとつで、ジョンパエズなどがとりあげています。黒人達の求める自由とはという問題から、さらに我々は現存する自己における自由とはなにかという問題を深く追求していかなければならないと思います。

愛の世界

Song. by 中 西 正 治

部員の中西正治のオリジナルで、孤独な二人の男女にふと訪れた愛は、この世の中をすべてばら色に塗りかえてしまいました。現在の社会機構の中でこんな真実の愛を語りあえる世界が存在することはなんと素晴らしいことでしょう。

Good night

arr. by 石 川 政 和

ビートルズの最新LPにある曲で、すばらしい旋律と心地よいリズムが「おやすみ」をさそいます。

A place in the sun

arr. by 桑 原 竜 司

盲目のR&Bシンガーであるスティービーワンダーのヒット曲です。太陽の当たる場所、希望の地に向って自由を求めてはばたいていきたいという内容の歌です。

「さみしい時僕は一すじの流れをみる

だってこんなちっぽけな流れでも

あの広い海を目指しているんだね

つらい時僕は木の枝をみる

なぜって こんな弱々しい枝でも

精いっぱいあの大空に向っているんだもの。」

湯河原温泉

富士屋旅館

電話 湯河原 (04606) 3711~5

東京案内所 (271) 1789・5635 大阪案内所 (271) 6809